



平和集会（8月9日「県民祈りの日」）

今日8月9日は「県民祈りの日」です。本校でも平和集会を行いました。

今から79年前の昭和20年（1945年）8月9日午前11時2分、長崎市の上空で一発の爆弾が爆発しました。原子爆弾（原爆）です。

アメリカ合衆国は1945年8月6日に、広島に原爆を投下しました。さらに3日後の8月9日、アメリカ合衆国の爆撃機B29は小倉（福岡県北九州市）に原爆を投下する予定でしたが、小倉の視界が悪かったため長崎に向かい、高度9,600mから原爆を投下しました。原爆は午前11時2分、長崎市松山町の上空約500mで爆発したのです。

原爆が投下された当時、長崎市の人口は約24万人でしたが、原爆によって昭和20年12月末までに73,884人が亡くなりました。74,909人が負傷し、原爆の熱線・爆風・放射線による病気（原爆症）が人々を苦しめ、生き残った人でも時間が経つにつれて様々な病気になり、今でも苦しんでいる人がいるのです。また、市内の約36%にあたる、18,409戸が被害を受けました。

戦争は、人を傷つけ、人のいのちを奪うものです。絶対にしてはいけないのです。戦争や核兵器がない世界にするために、私たちに何ができるのでしょうか。争いがなく、平和で穏やかな生活ができるようにするために、私たちは今、何をしなければならないのでしょうか。

子どもたちは、平和集会をとおして、8月9日に長崎の街で何が起こったのかを知るとともに、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考えました。そして、争いのない平和な世の中を築くために、今自分たちに何ができるのかを考え、自分を見つめ直す一日となりました。

ぜひご家庭でも、争いがなく世の中にするために私たちに今何ができるのか、一緒に考える機会をつくっていただきたいと思います。そして、戦争の悲惨さや平和の大切さについて、子どもたちにお話しいただければと思います。

夏休みも残すところ19日となりました。引き続き、子どもたちがルールやきまりを守って夏休みを安全に生活することができるよう、また何か一つでもいいからチャレンジする夏休みにできるように、ご家庭での励ましの声かけをよろしく願います。

8・9月の主な行事予定

〔8月〕

- 10日（土）～18日（日）学校閉庁期間
- 29日（木）2学期始業式（給食なし）
- 30日（金）短縮授業（8/30～9/3）

〔9月〕

- 3日（火）PTA執行部会
- 4日（水）委員会活動
- 5日（木）授業参観・懇談会
校内夏休み作品展
(9/5～9/9)
- 10日（火）PTA実行委員会
- 13日（金）佐世保市小・中学校夏休み作品展
(9/13～9/16)
- 15日（日）家庭の日
- 16日（月）敬老の日
- 19日（木）食育の日、徳育の日
- 22日（日）秋分の日
- 23日（月）振替休日
- 25日（水）クラブ活動